



▲左…八幡小学校5年生の皆さんの御田植体験。慣れない田のぬかるみを楽しみながら、苗をやさしい手つきで植えていった。右…早乙女の皆さんの田植えの様子。今年は雨の中、レインコートを着用しての御田植祭となり、鮮やかで風情のある衣装が隠れていたのが残念。

雨の中、田植え歌が響く

～野原八幡宮御田植祭～

6月25日(金)、野原八幡宮で御田植祭が行われました。この祭りは五穀豊穡を祈願して毎年行われていて、この季節の荒尾の風物詩となつていきます。社殿で関係者による神事が行われた後、すげ笠をかぶり、かすりの着物でたすき掛けをした早乙女が、田植え歌にあわせて御神田に苗を手植えしていきます。田植えには八幡小学校の5年生も参加し、歓声を上げながら手植えを体験しました。

環境美化への尽力を称えます

～平成22年度環境美化功労者表彰～

6月25日(金)、市長公室で環境美化功労者表彰式が行われました。表彰を受けたのは、団体が上井手上老人会と万田西花を植える会の2団体、個人が松崎美佐子さん(万田中)、内博幸さん(深瀬ヶ丘)、土居勝さん(万田中)の3人です。日頃から花植えや除草作業、積極的なリサイクル活動や清掃作業などに長年携わり、地域の環境美化に尽力しています。日々のたゆまぬ活動が地域の環境を守り、荒尾市の環境美化につながっています。



▲前列左から 土井勝さん、内博幸さん、前畑市長、万田西花を植える会 多田隈眞さん(万田西)、上井手上老人会 森山博民さん(上井手上)、後列左から宮里市民環境部長、三浦亮一深瀬区行政協力員(推薦者)、早起圭彦万田中区行政協力員(推薦者)、受賞者・松崎美佐子さんの代理)、丸山教育部長、馬場建設経済部長。おめでとうございます。

今年も菜種油ができました

～金山エコの会活動報告～

6月28日(月)、金山エコの会のメンバーが市役所を訪れ、市長に自家製の菜種油を手渡しました。金山エコの会は金山区資源保全会・長寿会・JAたまな女性部で構成され、地域の環境を守る活動を行っています。休耕地を利用した菜種の栽培と菜種油の採取は、今年2度目となりました。今年も天候不順の心配がありました。菜種油は地元の人を優先に1千円で販売され、売り上げはエコの会の活動資金となります。菜種の品種は「ナナシキブ」。不飽和脂肪酸を含まない改良種です。この菜種油で揚げたカライモのてんぷらを、地元の子どもたちに食べてもらい、市販の油との味や香りの違いを体験してもらおうそうです。



▲市長に活動を報告する金山エコの会のみなさん。左から金山公民館長 尾上信秋さん、前畑市長、金山エコの会会長 山崎久義さん、JAたまな女性部府本支部長 森野やエ子さん。

▶今年も収穫時期の見極めに苦労したが、昨年よりも10kg程多く収穫できたようだ。写真中央…長寿会会長 尾上和道さん。



◀出来上がった菜種油。既に売売とのこと。

